

# 神奈川県観光振興計画の概要

## 計画のポイント

- 1 多様な資源を活用した観光の広がりへ対応するため、重点プロジェクトを中心とした取組みを展開
- 2 観光振興による経済のエンジンを回す取組みを推進（「水のさと かながわ」づくり、新たな観光の核づくり 等）
- 3 「水」や歴史・文化、商店街など、観光が様々な分野と関わることから、クロスファンクションによる取組みを推進



## 計画概要

### 1 計画の基本的な考え方

- (1) 計画の趣旨：観光立県かながわの実現に向け、観光をめぐる環境の変化や観光の動向に対応した観光振興施策を総合的、計画的に推進するために策定。
- (2) 計画の性格：神奈川県観光振興条例に基づく計画。「かながわグランドデザイン」を補完する個別計画。
- (3) 計画の期間：平成 25 年度～27 年度までの 3 か年
- (4) これまでの取組みの検証等：魅力ある観光地の形成や地域の魅力の発信等に取り組み、これまで一定の成果を上げてきた。観光産業は裾野が広く本県の経済において重要な役割を担うことから、様々な面から観光客の来訪と消費を促す取組みを推進する必要がある。
- (5) 神奈川県の観光の現況  
県を訪れる観光客は、日帰り客が約 8 割を占め、首都圏からの来訪が多くを占めている。また、外国人観光客は、中国、韓国、台湾など東アジアからの来訪が多くなっている。
- (6) 「観光立県かながわ」実現に向けた課題  
「地域の観光魅力づくり」「広域連携の推進」「観光客のニーズの多様化への対応」「持続的な観光の振興」「宿泊滞在型観光の促進」「観光における安全・安心の確保」「新たな情報通信手段の活用」「観光客の受入体制の整備」「外国人観光客のさらなる誘客」「観光まちづくり人材の育成」

### 2 神奈川の観光の将来像

<かながわグランドデザインの将来像>  
行ってみたい、住んでみたい、  
人を引きつける魅力あふれる神奈川

何度も訪れたくなる神奈川

外国人を引きつける魅力あふれる神奈川

観光で元気になる神奈川

### 3 重点プロジェクト

- 新たな観光の核づくり
- 地域活性化に向けた拠点づくり
- 地域の観光魅力の向上や情報発信
- 「水のさと かながわ」づくり - 水の観光の促進
- 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と魅力発信
- 文化芸術によるにぎわいの創出 - 「マゲカル」の展開
- 医食農同源の取組みなど新しい分野と連携した観光の推進

- 外国人観光客の誘客促進
- 新たな観光の核づくり（再掲）
- 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と魅力発信（再掲）

- 観光まちづくり人材の育成や観光関連産業の活性化
- 商店街を核とした地域の魅力づくり - 商店街観光ツアーの推進

重点プロジェクト以外も、医療や癒し、教育などを観光資源として捉えた取組みを順次展開

### 4 施策体系

#### 大柱 1 魅力ある観光地の形成

- ア 多様な主体による観光魅力づくり
- イ 広域での観光魅力づくり
- ウ 観光魅力を向上させる景観形成や環境美化等の推進
- エ 観光客の安全・安心の確保
- オ 神奈川の魅力を伝える広報宣伝の充実
- カ 観光に関する県民の自主的な活動の促進
- キ ユニバーサルツーリズム促進のための環境整備
- ク 観光振興に資する交通基盤等の整備

#### 大柱 2 外国人観光客の誘客促進

- ア 外国人を引きつける観光魅力の創出
- イ 外国人観光客の誘客を図るための観光プロモーションの実施
- ウ 外国人観光客の受入体制整備

#### 大柱 3 観光関連産業の成長促進

- ア 地域資源を活用した製品の普及
- イ 観光に関する新事業創出や事業拡大の促進
- ウ MICE と連動した観光の促進
- エ 観光振興を担う人材の育成と地域ホスピタリティ向上

## 5 達成目標の設定

- (1) 「何度も訪れたいくなる神奈川」に関する目標
- ア「入込観光客数」  
現状 1億7,400万人 2015年 1億7,800万人
- イ「満足度」  
現状 49.7% 2015年度 58.0%
- ウ「延べ宿泊者数」  
現状 1,725万人 2015年 1,810万人
- (2) 「外国人を引きつける魅力あふれる神奈川」に関する目標
- ア「外国人旅行者の本県への訪問者数」  
現状 106万人 2015年 136万人
- イ「外国人延べ宿泊者数」  
現状 90万人 2015年 114万人
- (3) 「観光で元気になる神奈川」に関する目標
- ア「平均観光消費額」  
(日帰り)現状 4,100円 2015年度 4,500円  
(宿泊)現状 27,600円 2015年度 29,000円
- イ「観光消費額総額」  
現状 6,600億円 2015年度 7,000億円

## 6 観光振興重点期間

県観光振興条例に基づき、期間を設定。  
市町村や民間団体等と連携して、共同観光キャンペーンをはじめとした効果的な観光振興をオール神奈川で展開する。  
期間：10～11月

## 7 計画の推進体制・進行管理

計画の推進体制

- ・庁内の部局横断的な体制：県観光戦略本部
- ・観光に関わる各主体との連携  
(観光事業者・関係団体、市町村、県民、大学等)

計画の進行管理

- ・県観光戦略本部による検証
- ・県観光審議会による検証

観光立県かながわの実現

